

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 慶應義塾教員デニング  |
| Sub Title        |   |
| Author           | 會田, 倉吉(Aida, Kurakichi)   |
| Publisher        | 三田史学会   |
| Publication year | 1954  |
| Jtitle           | 史学 Vol.27, No.2/3 (1954. 5) ,p.250(348)- 250(348)   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            | 餘白録<br>慶應義塾史研究特輯  |
| Genre            | Journal Article   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19540500-0250">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19540500-0250</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

レーがその妄を辯じていて、なかに「氏(ナップ)が今年の夏、日本に來りしは云々」とある。そうすると、明治二十六年夏にも一度ナップは來日していることになるわけであるから、三度というのは訂正されねばなるまい。ナップは、そのころ、アメリカはマサチューセッツ州フォール リヴァーにおける寺院を管督していたという。以上、追記補正しておく。

本稿を草するにあたって、東大法學部明治新聞雜誌文庫の西田長壽氏から「郵便報知新聞」及び雜誌「ゆにてりあん」、「六合雜誌」、「眞理」等閲覧の便を供された。こゝに記して、その御好意を謝しておきたい。また、その他の諸資料探索にあたっては、慶應義塾史編纂所の杉本治子氏に御協力を願つた點が少なくない。併せて、こゝに感謝する。

### 慶應義塾教員デニング

拙稿「宣教師ナップと福澤諭吉」の本文二一四及び二一六頁に一言したW・デニングについては、かつて「デニングの演説集」(本誌二六卷三・四號餘白録)とか「デニング英大使の父と福澤先生」(「新文明」四卷一號)といったものを別に書いたこともあるが、明治十七年二月四日附の「時事新報」雜報記事「慶應義塾維持員會」によると、當時かれが義塾に教鞭をとつていたことが知られる。そして明治十六年に入塾し恰かもこのころ塾生であり、のち福澤

の養子となつた桃介はこのデニングに教えをうけたものと見え、「福澤桃介翁傳」(逸話篇、二五五頁)にこんな記事が出てゐる。當時のデニングの授業ぶりの一端がうかがえて面白いと思う。

慶應義塾の教師デニングの課題に對し、桃介氏がワン、ミニット、サウサンド、マイルスの汽車云々と答ふ。然るに數字で察めた西洋人は『左様な快速力のあるべき筈がない』と頭から否定したので得意の漢學流に白髮三千丈をまねた桃介氏大にしよげる。

(會田 倉吉)